

平成25年度病害虫発生予報第10号

平成25年12月26日
愛知 県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	疫病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	葉かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
ナス (施設)	灰色かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
	ハダニ類	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
キュウリ (施設)	べと病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	ハダニ類	多い	全域	12月下旬の発生量は多い	+

・防除対策

[ナス（施設）・ミナミキイロアザミウマ]

10月31日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第5号」を参照してください。

[キュウリ（施設）・ミナミキイロアザミウマ]

ほ場での発生状況に注意し、アドマイヤーフロアブル、モベントフロアブルなどで早め
に防除しましょう。天敵を使用しているほ場では、それらへの影響日数に注意し、農薬を
選定してください。

[イチゴ（施設）・ハダニ類]

10月1日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

・留意事項

トマトでは、黄化葉巻病の発生量が多いほ場があります。発病株は伝染源となるので、
見つけ次第抜き取り、適切に処分しましょう。タバココナジラミは低密度でもトマト黄化
葉巻ウイルス（TYLCV）を媒介します。タバココナジラミの増殖が盛んになる前に防
除を徹底しましょう。また、すすかび病が発生しているほ場があります。多湿条件下で多
発するので、換気を十分に行いましょう。農薬は葉裏にもかかるように丁寧に散布しまし
ょう。

キュウリでは、ミナミキイロアザミウマがキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）
を媒介するので、防除を徹底しましょう。発病株は伝染源になるので、見つけ次第抜
き取って適切に処分しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台12月20日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。日照時間は、平年並または多い確率
ともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%、2週目は低い確率50%
です。3～4週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：50% 平年並：30% 高い：20%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。